



ウィズコロナをリードするオーストラリアの投資環境

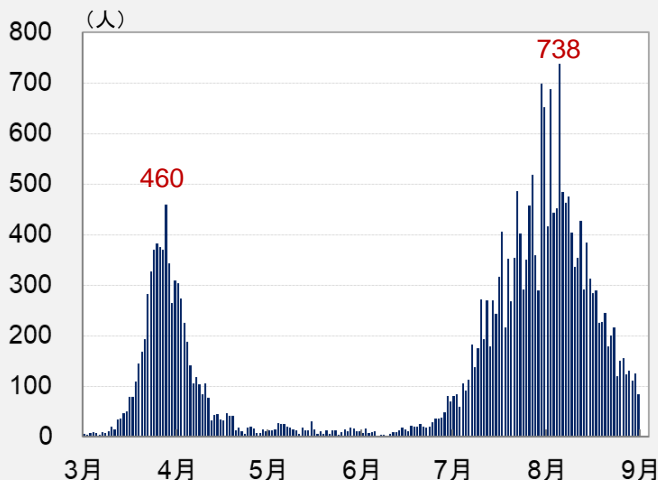
感染第2波終息の兆しが見え始める中、早くも豪州の消費者心理は改善傾向

✓ 足もとで豪州の新規感染者数は減少傾向にあり、感染第2波に終息の兆候が見え始めています

✓ 消費者心理は改善傾向、小売売上高も堅調さを維持しています

新型コロナウイルスの新規感染者数

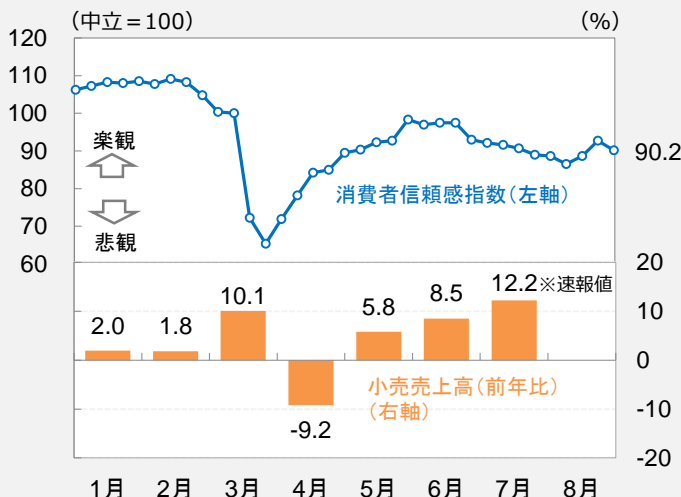
(2020年3月1日～2020年8月31日)



(出所) 豪公共放送ABC

豪州の消費者信頼感指数と小売売上高 (前年比)

(2020年1月初～2020年8月末)



(出所) 上: ブルームバーグ、2020年1月5日～2020年8月30日
下: オーストラリア統計局、2020年1月～2020年7月

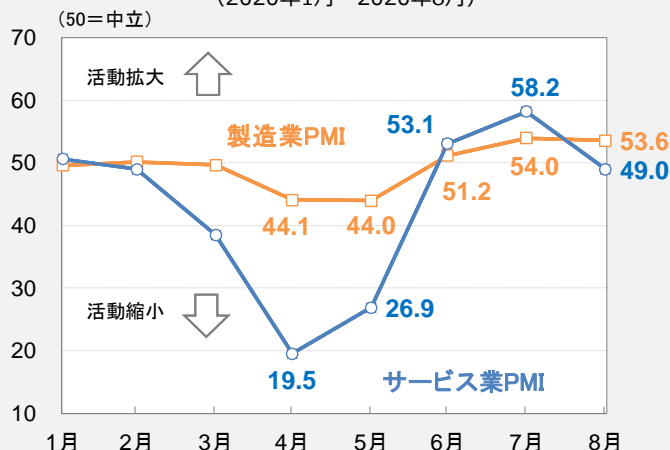
第2波の終息期待から景気は回復傾向

✓ 企業部門の景況感も、コロナショックにより急失速したサービス業の経済活動が回復傾向にあります

✓ 2020年第2四半期の実質GDP成長率では、豪州は先進国の中で最もマイナス幅が軽微に留まりました

豪州の製造業とサービス業の景気指数

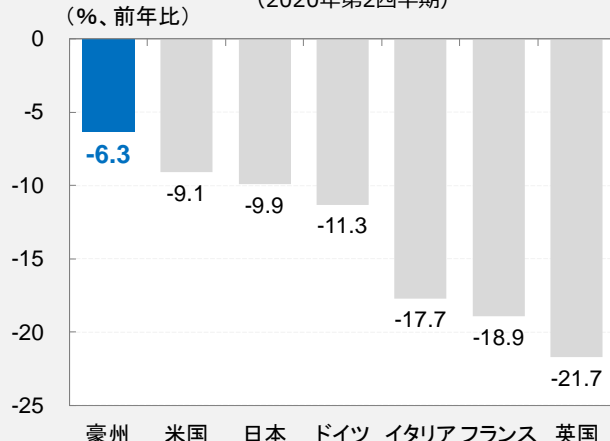
(2020年1月～2020年8月)



(出所) ブルームバーグ
※PMI: 企業の購買担当者の景気指数

主要国の4-6月期の実質GDP成長率

(2020年第2四半期)



(出所) ブルームバーグ、各国公式統計

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。●当資料に記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としたのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

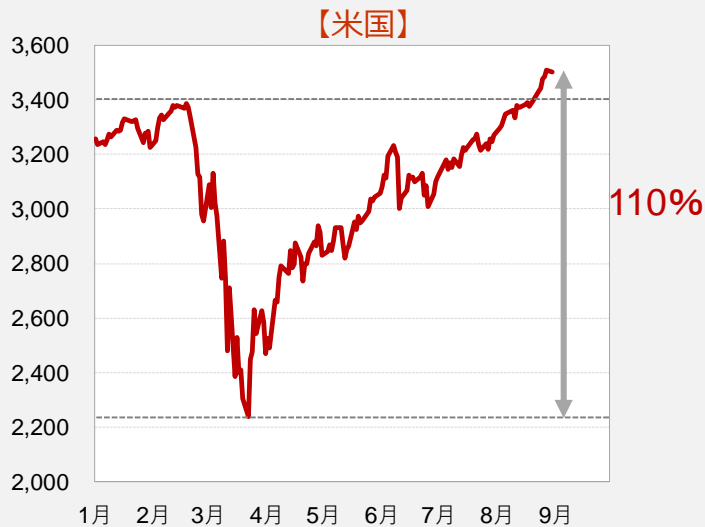
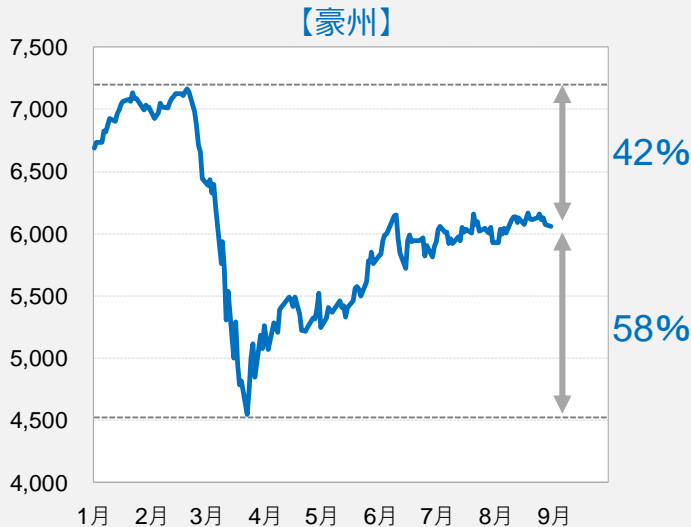


米国と比較して出遅れ感のある豪州株式

✓ 年初来底値からの回復率をみると、米国と比較して豪州株式には出遅れ感があります

年初来高値から底値までを100%とした場合の底値からの回復率

(2020年1月初～2020年8月末)



(出所) ブルームバーグ

※豪州：S&P/ASX200指数、米国：S&P500指数 ※年初来高値：豪州（2月20日）、米国（2月19日） ※底値：豪州、米国ともに3月23日

✓ 感染第2波への懸念が豪州株式市場の重しとなっていました、足もとでは感染者数減少とともに株価は上昇傾向にあります

✓ 一方で、コロナ危機後の米国株式の回復は、ごく一部のテクノロジー株を主導しており、株価の二極化が進んでいるとも言えます

新型コロナウイルスの新規感染者数と豪州株の推移

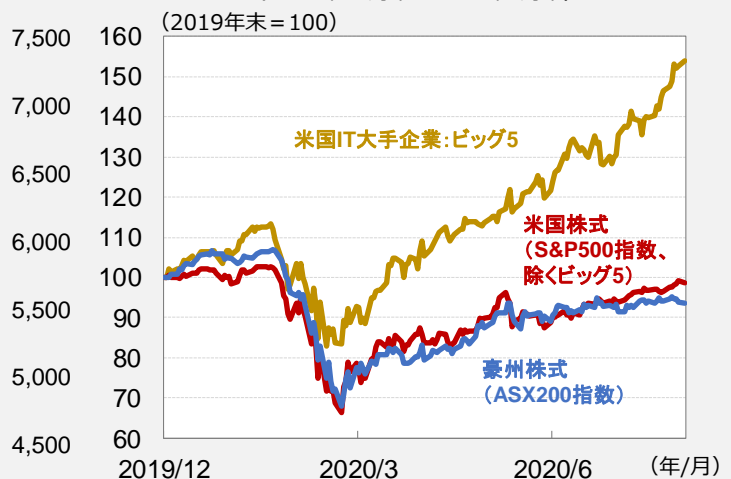
(2020年2月1日～2020年8月末)



(出所) 豪公共放送ABC、ブルームバーグ
豪州株式：S&P/ASX200指数

豪米株式の時価総額の推移

(2019年12月末～2020年8月末)



(出所) ブルームバーグ
ビッグ5：フェイスブック・アマゾン・グーグル・マイクロソフト・アップル

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



豪州株式の割高感は限定的、2021年の企業収益は回復が予想される

✓ 米国の予想PERがコロナショック前の水準と比較して大きく上昇する一方で、豪州においては上昇ペースが抑えられています

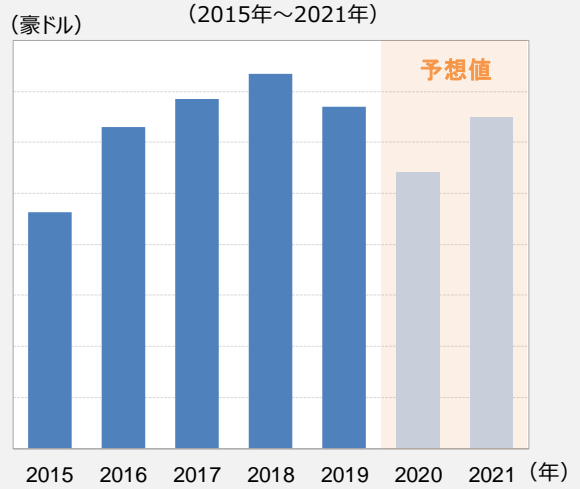
✓ 2021年は経済活動の再開に伴う企業業績の回復が見込まれることから、一株当たり利益は増益が予想されています

各国株式の12ヵ月先予想PERの推移



(出所) ブルームバーグ
※豪州：S&P/ASX200指数、米国：S&P500指数

豪州株式のEPSの推移

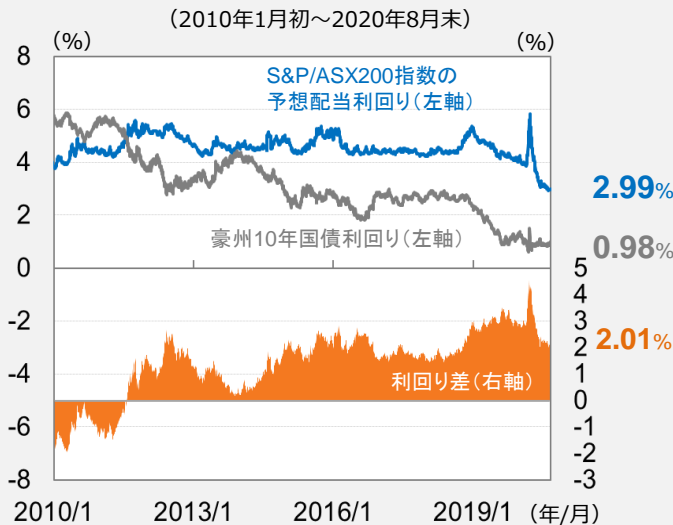


(出所) ブルームバーグ
※豪州株式：S&P/ASX200指数
※2020年以降は2020年8月末時点の予想値

依然として投資妙味が残る豪州株式・REITの配当利回り

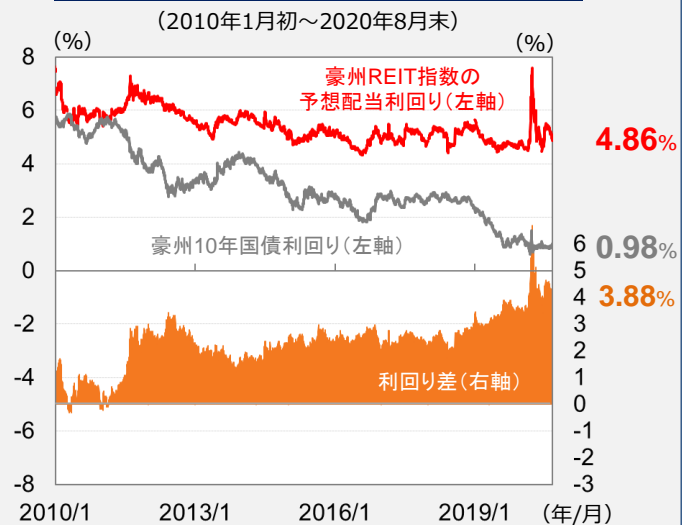
✓ 10年国債利回りは最低水準で推移しており、豪州株式・REITの配当利回りは、魅力的な水準を維持しています

豪州株式の予想配当利回りと国債利回り



(出所) ブルームバーグ
※オーストラリアREIT指数：S&P/ASX300 A-REIT指数
※左：利回り差=S&P/ASX200指数の予想配当利回り-豪州10年国債利回り、右：利回り差=S&P/ASX300 A-REIT指数の予想配当利回り-豪州10年国債利回り
※四捨五入のため、合計の値が一致しない場合があります

豪州REITの予想配当利回りと国債利回り



●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

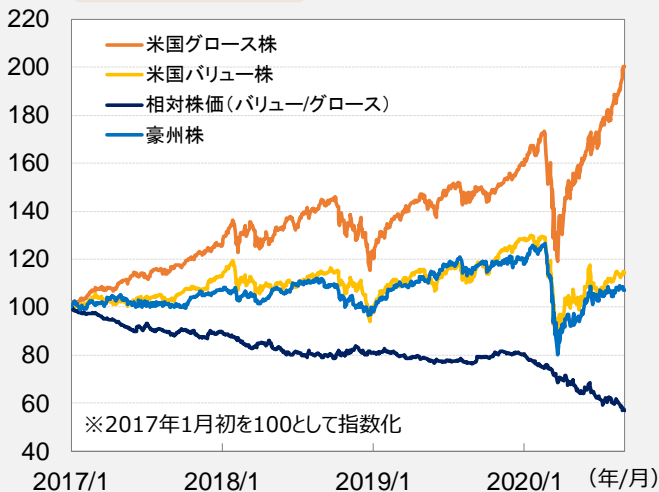


相場循環：米国バリュー株の値動きと類似する豪州株式

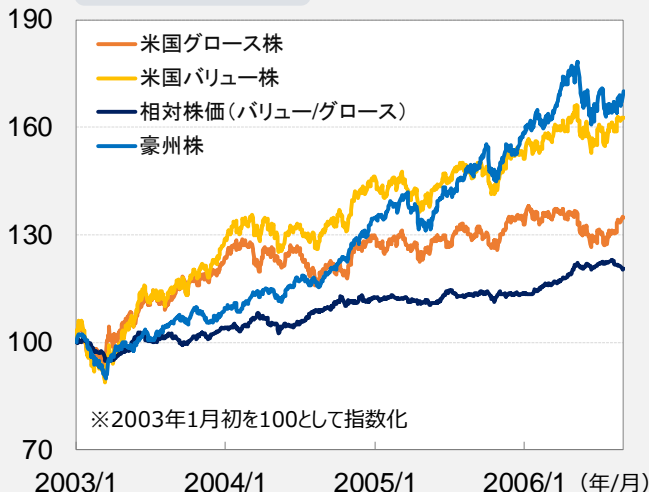
✓ 近年はグロース株優位の相場が継続していますが、1999年前半から2000年前半まで続いたITバブル崩壊後はバリュー株優位の相場展開となりました

2017年初以降とITバブル崩壊後の米国グロース株・バリュー株と豪州株の比較

グロース株優位 (2017年1月初～2020年8月末)



バリュー株優位 (2003年1月初～2006年8月末)



(出所) ブルームバーグ

※米国グロース株：S&P500グロース指数、米国バリュー株：S&P500バリュー指数、豪州株：S&P/ASX200指数

豪ドル相場はコロナショック前の水準へ回復進む

✓ 豪ドルの対米ドル相場は既にコロナショック前の水準を回復し、0.74米ドル台まで回復が進みました

✓ 豪ドルの対円相場に関しても、77円台まで順調に回復が進んでいます

豪ドル・米ドルレートの推移

(2004年1月初～2020年8月末)



(出所) ブルームバーグ

豪ドル・円レートの推移

(2004年1月初～2020年8月末)



(出所) ブルームバーグ

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



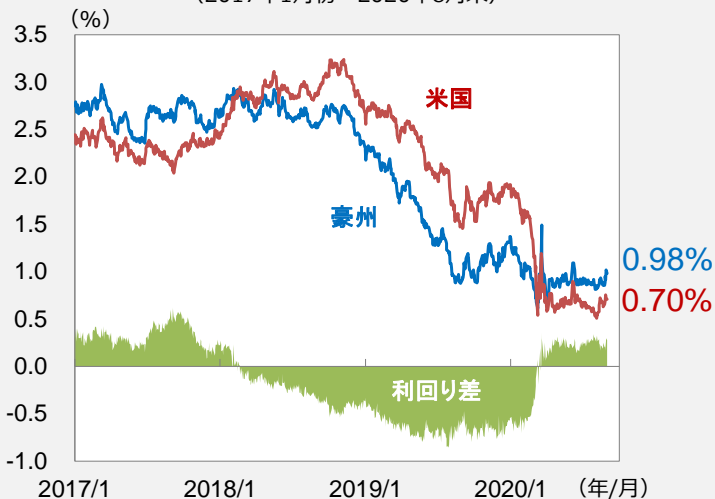
米国との金利差逆転と投機筋の動向

✓ コロナショック以降、再び豪州10年国債利回りが米国10年国債利回りを上回って推移しています

✓ 米国との金利差逆転等を背景として、投機筋による豪ドルの買戻しが進んでいます

豪米10年国債利回りの推移

(2017年1月初～2020年8月末)

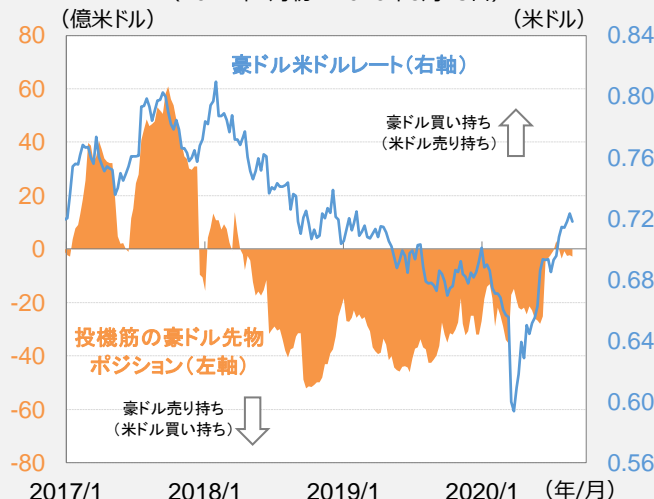


(出所) ブルームバーグ

※利回り差 = 豪州10年国債利回り - 米国10年国債利回り

投機筋の豪ドル先物ポジション

(2017年1月初～2020年8月25日)



(出所) ブルームバーグ、週次データ

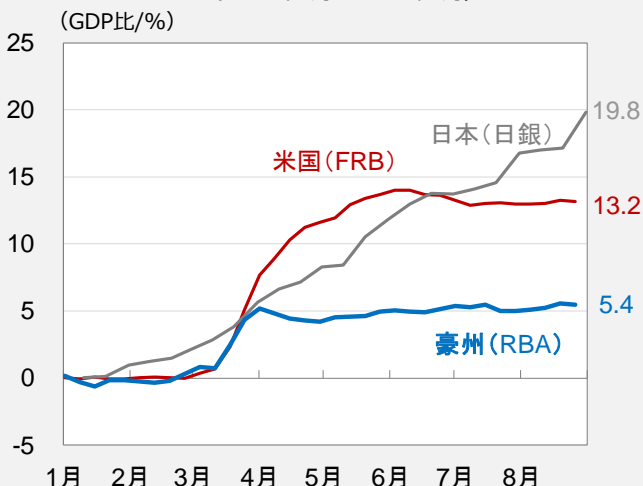
米国との金融緩和の規模の差や経常収支の改善は一段の豪ドル高要因に

✓ 豪州では経済のファンダメンタルズが安定しつつあり、米国や日本との量的緩和政策の方向性に乖離が見られます

✓ 経常収支は2019年第2四半期に黒字転換後、5四半期連続で黒字を継続、過去最高水準を更新しています

豪米日の中央銀行の総資産増減

(2020年1月～2020年8月)

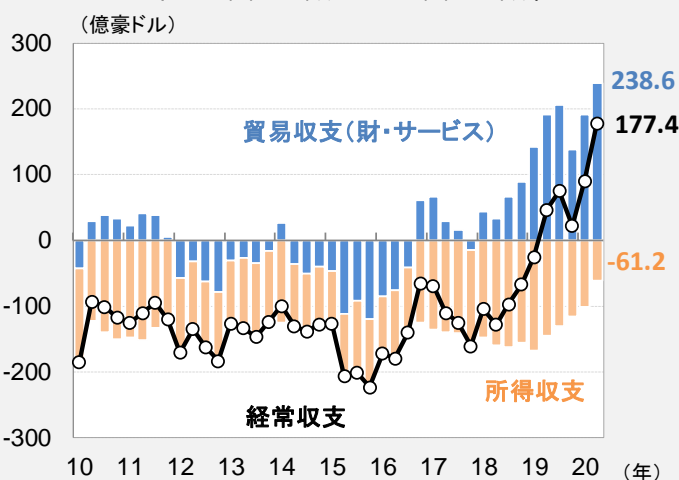


(出所) 各国中央銀行、公式統計

※豪州、米国は8月26日まで(週次)、日本は8月31日まで(10日毎)

豪州の経常収支の推移

(2010年第1四半期～2020年第2四半期)



(出所) オーストラリア統計局

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。●当資料に記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

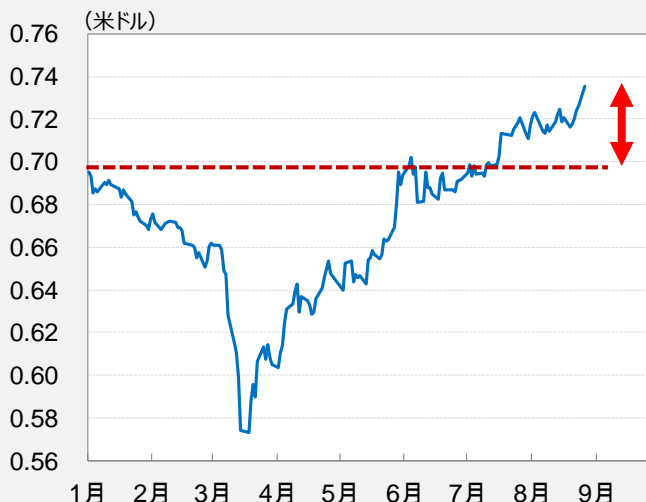


2020年の豪ドルと豪州株式の比較

✓ 豪ドル相場はコロナショック前の水準を回復し、年初来高値を更新する一方で、豪州株式の回復は道半ばの状況にあります

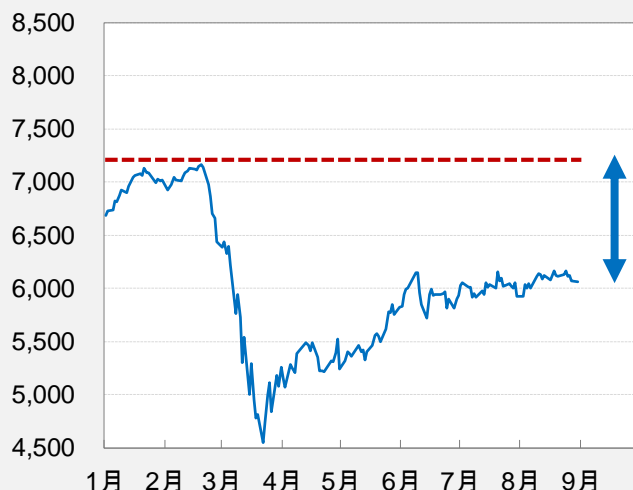
豪ドル相場（対米ドル）の推移

(2020年1月初～2020年8月末)



豪州株式の推移

(2020年1月初～2020年8月末)



(出所) ブルームバーグ
※豪州株式：S&P/ASX200指数

✓ 2020年3月の年初来最安値から8月末までの株式市場の回復を豪米で比較すると、現地通貨ベースでは米国株式が好調ですが、為替を加味する円ベースでは豪州株式が米国株式を上回っています

豪米株式の期間騰落率（現地通貨・円ベース）

(2019年12月末～2020年8月末)

【豪州】

	騰落率 (現地通貨ベース)	騰落率 (円ベース)	豪ドル円
2019年12月末			76.10
2019年12月末～2020年3月23日 (年初来最安値)	-32.0%	-43.3%	63.42
2020年3月23日(年初来最安値) ～2020年8月末	33.3%	63.7%	77.90

【米国】

	騰落率 (現地通貨ベース)	騰落率 (円ベース)	米ドル円
2019年12月末			108.54
2019年12月末～2020年3月23日 (年初来最安値)	-30.7%	-29.4%	110.65
2020年3月23日(年初来最安値) ～2020年8月末	56.4%	49.8%	105.92

(出所) ブルームバーグ

※豪州株式：S&P/ASX200指数、米国株式：S&P500指数 ※年初来最安値は豪州、米国ともに3月23日

※2020年3月23日の騰落率は2019年12月末と2020年3月23日、2020年8月末の騰落率は2020年3月23日と2020年8月末の比較

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



日本の投資家が豪州に3年間投資した場合の投資成果

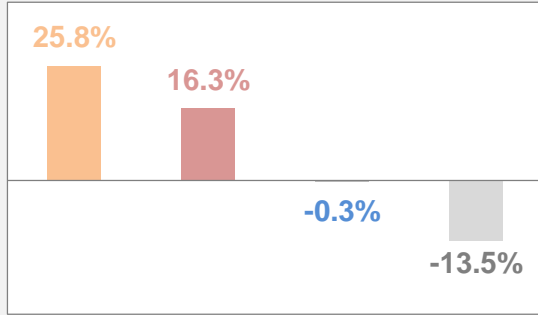
✓ 毎月末を開始時点として、豪ドル、豪州株式（円ベース）に3年間投資した場合の損益を見ると、60-70円台で投資を開始した場合には、平均収益率がより高まり、かつ収益率がプラスになった回数が多いことがわかります

豪ドルに投資（円ベース）

(2000年1月末～2020年8月末)

投資開始時の豪ドル/円レート

↑
平均
収益率
↓

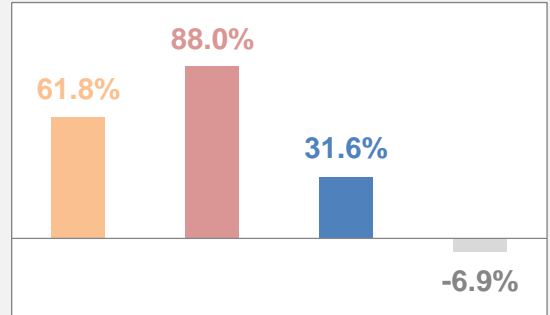


豪州株式に投資（円ベース）

(2000年1月末～2020年8月末)

投資開始時の豪ドル/円レート

↑
平均
収益率
↓



	60円台以下	70円台	80円台	90円台以上
プラス回数*	全40回中 40回	全45回中 40回	全76回中 38回	全51回中 0回

	60円台以下	70円台	80円台	90円台以上
プラス回数*	全40回中 40回	全45回中 45回	全76回中 59回	全51回中 24回

(出所) ブルームバーグ

※2000年1月～2017年8月の各月末から豪ドル・豪州株式（円ベース）に3年間投資した、212ケースの投資損益を集計

※豪州株式：S&P/ASX200指数（配当込み）

*3年間投資した収益率がプラスとなった回数

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。

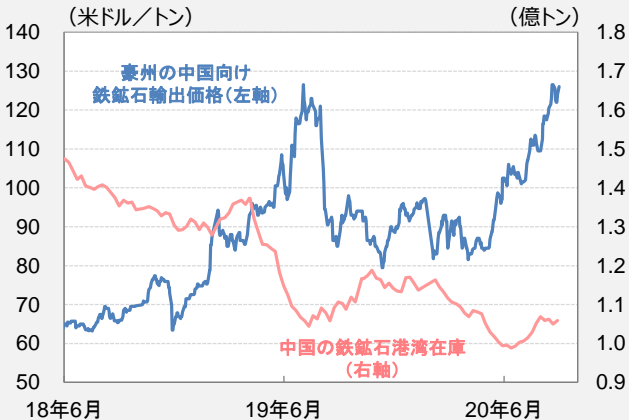
鉄鉱石需要の拡大が豪ドルの追い風に

✓ 中国でのインフラ投資の拡大により、鉄鉱石価格は上昇基調にあります

✓ 牛肉や大麦、アルコール飲料など一部品目では、中国との通商問題*が懸念されていますが、豪州の輸出への影響は軽微であることがわかります

鉄鉱石輸出価格と中国の鉄鉱石港湾在庫

(2018年6月初～2020年8月末)



(出所) ブルームバーグ

港湾在庫：2018年6月初～2020年8月28日（週次）

中国向け輸出の財輸出全体への影響度

構成比(①)順位	品目	財輸出全体の構成比(①)	うち中国向け輸出の割合(②)	財輸出全体への中国の影響度(①×②)
1	石炭	19.4%	21.4%	4.1%
2	鉄鉱石	18.3%	81.2%	14.9%
3	天然ガス	12.5%	31.6%	4.0%
4	金	5.5%	30.3%	1.7%
5	アルミニウム鉱石	3.3%	11.3%	0.4%
6	牛肉	2.5%	15.0%	0.4%
9	食肉(除く牛肉)	1.4%	15.6%	0.2%
15	アルコール飲料	0.9%	33.4%	0.3%
24	大麦	0.5%	75.6%	0.4%
-	財全体	100.0%	34.3%	34.3%

(出所) オーストラリア外務貿易省、2018年

*中国当局が、中国向け牛肉輸出を行う豪州の一部の食肉処理場に対して輸入停止措置を下したり、豪州産大麦に対して追加関税を課している問題

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



TOPIC

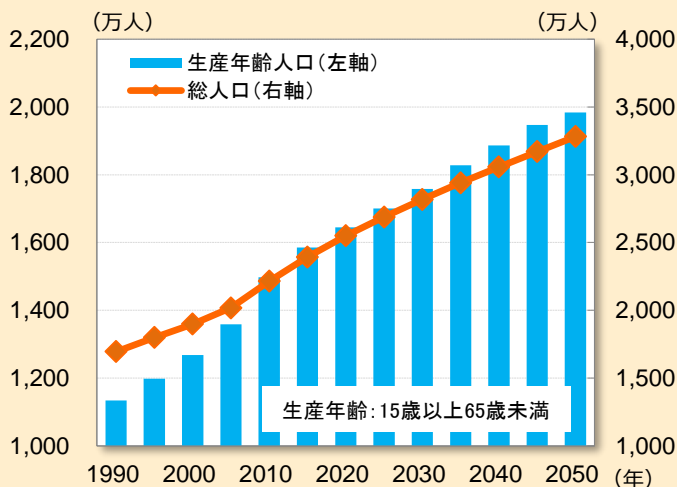
オーストラリア経済のポイント



1. 人口増加

- オーストラリアの人口は自然増加と移民の受け入れにより、安定した増加傾向にあります

オーストラリアの総人口と生産年齢人口の推移

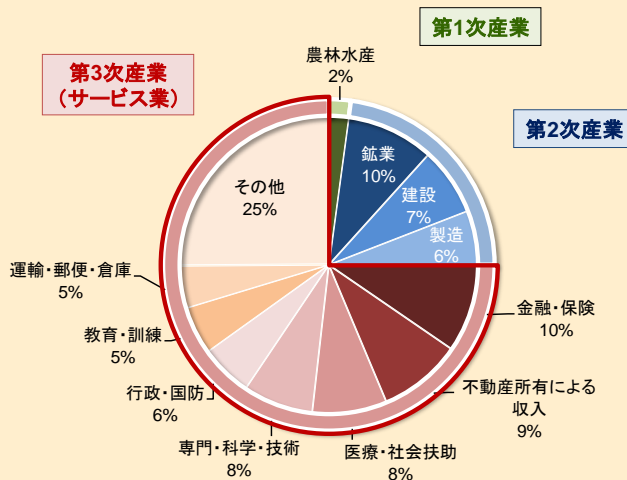


(出所) 国際連合、1990年～2050年
 ※各年7月1日現在の推計人口及び将来推計人口 (中位推計値)

2. 内需主導の経済構造

- GDPの70%以上を占める第3次産業 (サービス業) がオーストラリア経済の牽引役となっています

GDPの産業別構成



(出所) オーストラリア統計局、2019年度 (2019年7月～2020年6月)
 ※四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります

3. 安定した事業基盤を有する豪州の銀行セクター

- 人口増加等を背景にオーストラリアの銀行は預貸率が100%を超えています。また寡占による強い競争力を背景に、金利低下局面でも収益 (スプレッド) を確保でき、安定した事業基盤を維持しています

豪日の銀行の預貸率と大手銀行の預金シェア

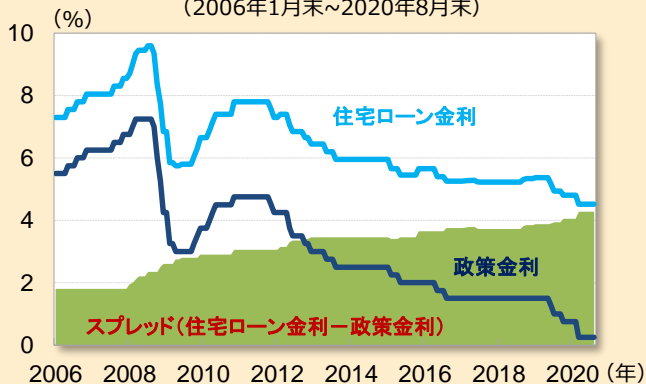
(2020年7月時点)

	オーストラリア	日本
預貸率	121%	65%
預金シェア	四大銀行 73%	都市銀行5行 50%

※四大銀行：ANZ銀行グループ・コムウェルス銀行、ウエストバック銀行、ナショナル・オーストラリア銀行
 ※都市銀行5行：みずほ・三菱UFJ・三井住友・りそな・埼玉りそな
 (出所) ブルームバーク、APRA (オーストラリア金融規制・監督当局) 全国銀行協会

豪州の住宅ローン金利の推移

(2006年1月末～2020年8月末)



(出所) ブルームバーク

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 (以下「当社」) が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。●当資料に記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 (金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第417号) はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。